

企業・施設のエネルギー管理者の省エネ推進をサポート 「GODAクラウドサービス」を本格展開

高砂熱学工業株式会社
本社・東京都新宿区新宿6-27-30
会長兼社長・大内 厚、資本金13,134百万円

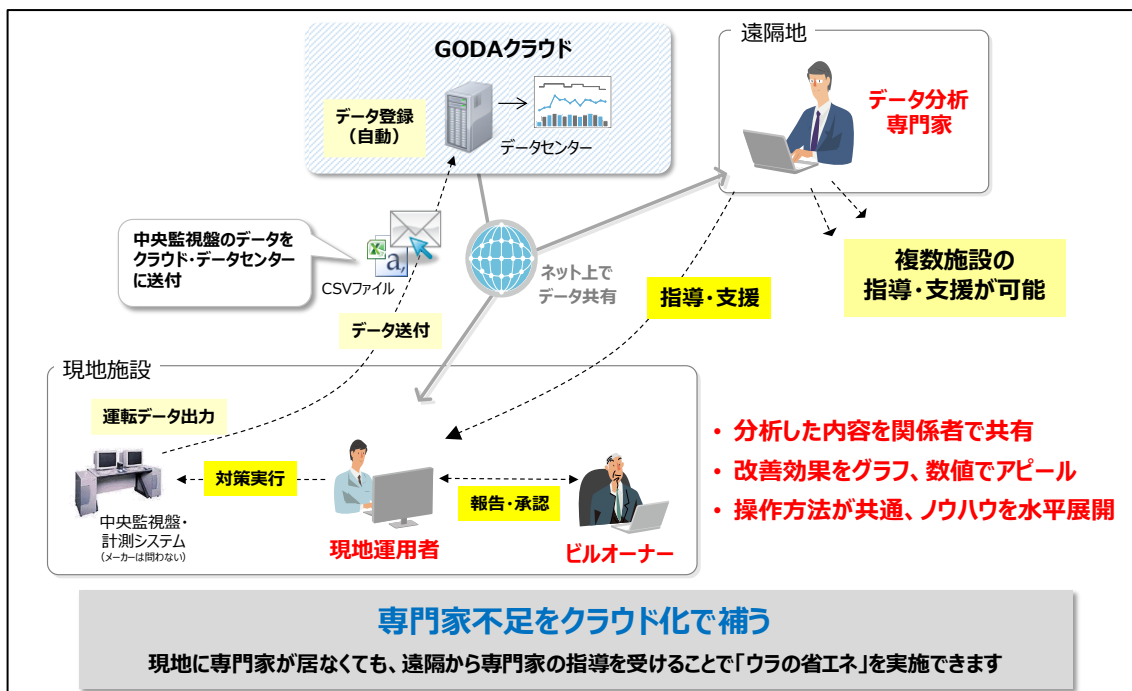
高砂熱学工業株式会社は、平成29年度 省エネ大賞「省エネルギーセンター会長賞」を受賞した「GODAクラウド」(*) を企業・施設のエネルギー管理者の省エネ推進のサポートツールとして提供する「GODAクラウドサービス」を本格的に展開します。

* GODAクラウドはパナソニック株式会社との共同開発

本ツールは、これまで提案用の業務ツールとして使用しており、既に約200施設において、運用分析に用い、数多くのソリューションを実践しています。そこで得た設備運用の知見や分析手法をGODAクラウドの機能に反映し、分析ツールとしての競争力を継続的に確保してきました。

クラウドサービス化することにより、施設管理者が安価かつスピーディーに導入することを実現。また、英語化対応により、さらに提供範囲を拡げてまいります。今後、現在整備中の建物データを一元管理する情報処理プラットフォームと連携し、データを活用した新サービスを創出し、GODAクラウドユーザーに省エネ+αの付加価値を提供していく予定です。

<GODAクラウドイメージ図>



<GODAクラウドサービス化の背景>

GODAクラウドサービスは、2004年に販売を開始したデータ収集分析ツール「GODA」のクラウド版を使用して、企業・施設のエネルギー管理者による省エネ推進をサポートする省エネサービスです。

施設の省エネ手法の中でコストパフォーマンスが高いものは、施設の使い勝手や設備機器の特性を理解している人が運用データを分析し、無駄な動きを見つけて運用を改善する「ウラの省エネ（エコチューニング・省エネチューニング）」といわれています。しかし、我が国では「ウラの省エネ」を実践できる分析・指導の専門家が圧倒的に不足しています。

当社では、この専門家不足という社会課題の解決策として、GODAクラウドを用いて、施設にいる運用者を遠隔地から専門家がサポートし、「ウラの省エネ（運用改善）」をおこなう新たな省エネスキームとしてGODAクラウドサービスを展開していきます。

GODAクラウドサービスの普及によって、分析・指導の専門家が、より多く広範囲に渡って施設の省エネ運用をサポートします。また、国内のみならず、インターネットでつながる全世界の施設の稼働状況を国内から分析するなど、グローバルでのCO₂削減マネジメントにも活用できます。

当社では、当社グループが掲げる「脱炭素社会に向けて世界に貢献」の具現化に向けて、コアビジネスである設備工事を起点に施設の活用を図るFM・PM事業の核となるツールとして、GODAクラウドサービスを本格的に社会に展開していきます。

	「オモテの省エネ」 分りやすい運用改善	「ウラの省エネ」 高度な裏方のチューニング
誰が	誰でもできる 総務、オフィスワーカーが担当	専門知識がないとできない。 設備・ファシリティの専門家が担当
どんな体制で	総務、ビル管理者が担当	総務、ビル管理、設備業者の協力体制
何を	<ul style="list-style-type: none"> 設定値の変更（室内温度など） 運転スケジュールの変更 こまめな消灯、スイッチオフ パソコン、複合機の省エネ設定 	<ul style="list-style-type: none"> 熱源、空調システムの適切な調整 運転パラメータ（圧力、流量、温度）設定 ポンプ圧力の調整 蒸気ホイヤー圧力の調整
必要な計測	電力量、室内温度 が基本	電力量、室内温度に加え、 圧力、流量、温度（冷水温、蒸気温） 運転パラメータなど
実施時の 合意形成	執務者（居住者）に気付かれる （理解を得る必要あり）	執務者（居住者）には気付かれずに 実施できる

<ビジネスモデルの特徴>

GODAクラウドサービスのビジネスモデルとしての特徴は、メーカーに依らず全ての中央監視装置への対応が可能なことです。このため、エネルギー管理指定工場(約15,000棟)をはじめ、国内で中央監視装置が導入されている施設(約22,000棟)の大半が対象施設となります。当社では、これらの施設の省エネ推進を担う方を対象に本サービスを提供していきます。標準サービス料金は、初期費用20万円、月額利用料2万円で、エネルギーコストが200万円/月(約8,000㎡に相当)以上であれば採算性も確保できます。

<今後のスケジュール>

当社 FM・PM事業推進部(本年4月から国内事業統括本部の傘下に移行)を窓口、GODAクラウドサービスの特徴・優位性をアピールし、2019年度末までに500施設との契約を目指します。

当面のアピールとして、以下の活動を予定しています。

- (1)「ENEX 2018 第42回地球環境とエネルギー調和展」(2/14～16、東京ビッグサイト)に出展
 - ①省エネ大賞アワードコーナーに展示、紹介します。
 - ②2月14日 東京ビッグサイト東1ホール/セミナーB会場での『スマートビルディング ～ビルのエネ
ルギー最適化事例～』でパナソニック(株)と共同でセミナーを開催。
- (2)JFMA 第12回日本ファシリティマネジメント大会「ファシリティマネジメントフォーラム2018」に出展
(2/22～23、タワーホール船堀)

以上

報道関係からのお問合せ先

高砂熱学工業株式会社

経営企画部 広報室 鷺尾、土屋まで TEL 03(6369)8215(直通)

鷺尾 携帯: 090-4437-3858 E-mail: masaki_washio@tte-net.com

土屋 携帯: 080-9347-5316 E-mail: takuhito_tsuchiya@tte-net.com